



NATO/EUの侵略は ウクライナでの戦争を引き起こす

ウクライナとロシアの労働者： 銃口を自身の支配者に向けよ！

この声明は、英語版『SPARTACIST』付録（2022年2月27日）から翻訳されたものである。

ロシアによるウクライナへの侵攻は、何十年にも亘る米国主導の北大西洋条約機構（NATO）と欧州連合（EU）の拡大によって引き起こされた。帝国主義諸大国は、ソ連邦を破壊した資本主義反革命を指揮した後で、ロシア国境地帯にまで東方へと支配権を拡大し、その地に略奪とエスニック間の争いと屈辱をもたらしている。西側の帝国主義者たちは現在、ロシアによる「侵略戦争」とウクライナの主権の侵害に対して激怒している。世界中の労働者を略奪しているこうした盗賊どもは、ウクライナの民族的諸権利など屁とも思わない。彼らが本当に激怒しているのは、東ヨーロッパを略奪する彼らの独占的権利に対して、またこの地域での米国の覇権に対して、ロシアが挑戦しているからに他ならない。危機と戦争という終わることのない循環は、帝国主義の中心諸国における社会主義革命を通じて、その根元を断ち切らなければならない。**米国での労働者革命を！自らの意思により統一したヨーロッパ・ソビエト合衆国を！**

ウクライナとロシアとの間の戦争において、前進する唯一進歩的な道がある。それは、この二つの資本家階級間の戦争を労働者が**両国**の資本家階級を打倒する内戦に転化することである。我々はウクライナとロシアの兵士と労働者に呼びかける。互いに交戦せよ！銃口を自身の搾取者に向けよ！

この戦争は根本的に、ウクライナがどちらの勢力圏に属するかをめぐる戦争である。ロシア軍かそれともウクライナ軍のどちらの勝利も、さらなる抑圧をもたらすだけである。ウクライナ政府はウクライナを解放するために戦っているのではなく、ウクライナをNATO/EUの帝国主義諸大国に一層隷属させるために戦っているのである。ウクライナは、2014年における米国支援のクーデター以来、帝国主義諸大国に従属してきたのだ。ウクライナ政府の勝利は、ウクライナにおけるロシア人マイノリティ

への抑圧も増大させるだろう。その一方で、ロシアによるウクライナ侵略は、帝国主義の搾取をロシアの鞭で取って代えようとしているだけである。ドネツクとルハンスクでの自身の統治を求める正当な民族闘争は現在、ロシアのより広範な反動的戦争目的に結び付けられている。ウクライナとロシアで革命が起こるならば、民族問題を解決し、オリガルヒを排除し、自国の搾取者に対抗して立ち上がるよう国際的に労働者を鼓舞するだろう。

現在の戦争の革命的結果は必要であり可能である。1917年にも、ロシアとウクライナの勤労者は、彼らの支配者により大砲のえじきの兵士として利用されていた。彼らはこれに終止符を打った。彼らは、将校を銃殺し、世界で最も偉大な革命において、共通の搾取者である資本家と地主を一掃するためボルシェビキ指導部の下で反乱を起こした労働者に加わることで、そうしたのである。**ロシアとウクライナで新たな十月革命を！**

資本主義世界は、パンデミックによって引き起こされた二年に及ぶ危機ですでに荒廃している。ロックダウン、失業、労働強化、インフレ、崩壊しかけた医療は、世界中の労働者にとって現実のものである。現在の戦争は、労働者の生活水準の破壊を加速させ、また階級対立を先鋭化させるだけである。革命家の任務は、資本主義社会の底辺で蓄積されつつある激しい怒りを、戦争、困窮、搾取に対する唯一の解決へと、つまり国際的な労働者支配の確立へと転換することである。

パンデミックは現在の労働運動指導者たちの完全な破産をはっきりと暴露した。労働者階級がウイルスと資本家の攻撃双方に打ちのめされてきた一方で、こうした階級の裏切り者たち（社会民主主義者、スターリニスト、労働組合官僚）は、完全にボス側に立ち、さらなるロックダウンと犠牲を要求したのである。現在、特に帝国主義の中心諸国で、こうした同じ裏切りの指導者たちは、労働者を米国とその同盟諸国の目標に結集させ、NATOとEUへ尽きない忠誠を誓い、ロシアを飢餓へと陥れる制裁を科すべきだと要求しているのでは

EUとNATOを打倒せよ！

